

平成28年度 第1回 千葉県救急・災害医療審議会 議事概要

日時：平成28年7月14日（木） 午後5時から午後6時10分

場所：千葉県本庁舎5階大会議室

出席委員：織田委員、川越委員、李委員、木下委員、小林委員、松本委員、高橋委員
田中委員、星岡委員、大麻委員（14名中10名出席）

※議事（2）については医療機関の経営に大きく影響する内容であり、関係資料に個人情報が含まれること、各委員から自由な意見を求める議事であることから、議事の内容を非公開とする。

議事（1）会長の選任について

【結論】委員互選にて、川越委員が会長に選任された。

議事（2）救命救急センターの指定について

【事務局説明】資料1－（1）から（12）により説明

・東京女子医科大学附属八千代医療センターの救命救急センター指定について、当該医療機関の施設、設備及び人員の体制等と、救命救急センターの指定要件が合致するかどうかについて説明を行った。

【結論】

・看護師の体制につき、再度資料の提出を受けることを付け加えたうえで、東京女子医科大学附属八千代医療センターの救命救急センター化が承認された。
・審議会後、会議参加者を対象に再提出を受けた看護師の体制に関する資料を基に再度審議を行い、承認された。

報告（1）ちば救急医療ネットの更新について

【事務局説明】資料2－（1）から（2）により説明

・ちば救急医療ネットの更改に向け、新システムの内容を検討するワーキンググループの構成案及び今後の日程案について示された。ワーキンググループの構成は審議会の委員から数名、他周産期や新生児、システム関係者等からなる。
・平成27年度に実施した現システムの利用者を対象に行った、システムに関するアンケート結果の取りまとめ結果の説明を行った。

【意見等】

- ・実際に現場でどういったシステムがあれば使えるかということをよく考える。診療科や疾患、分野によって必要度が違うところがあるのではないかな。
- ・もう一工夫して次はもっとかなり良くなったと言われるものにしていくように、ワーキンググループで頑張りたい。

報告（２）搬送困難事例受入医療機関支援事業について

【事務局説明】資料２－（３）により説明

- ・実施を検討している搬送困難事例受入医療機関支援事業につき、平成２８年６月に行った、搬送困難事例受入医療機関支援事業の実施に向けたアンケートの結果について説明を行った。
- ・アンケートでは、現時点の参加希望として、７医療機関から希望があった。
- ・今後の事業実施に向けたスケジュールについて、説明した。

【意見等】 特になし

報告（３）搬送困難事案への対応について

【事務局説明】資料２－（４）により説明

- ・平成２８年１月に発生した搬送困難事案につき、平成２８年５月１６日付けで発出した通知の説明及び地域メディカルコントロール協議会で本件に関係して議題を出し、各地域で議論を行っていることを説明した。

【意見等】 特になし

その他の議題

（１）災害時の検死訓練について

検死訓練が年々縮小されているが、縮小しないようにお願いしたい。

（２）民間によるトリアージについて

公的な機関だけでは対応できない部分もあるようなので、民間に研修の機会をお願いしたい。